

CLASSIC PORSCHE SPORTS DAY (CPSD)

2 Hours Endurance レギュレーション

2017/12/1

<CPSD 2H 耐久レースについて>

開催日：2018年2月18日（日）@袖ヶ浦フォレストレースウェイ

1 チーム 3 台までのクラシックポルシェ（型式、年式は別途記載）を複数のドライバー（チーム）がトランスポンダー（自動計測器）を搭載して、規定時間 2 時間での走行距離を競うリレー方式のチーム耐久レースです。ただし、モデル、年式、および改造範囲によって、車両ごとにハンデキャップタイム（ピットストップ）を設けます。

目次

- 2P～ ①ドライバーとチーム及びチームマネージャー
- ②参加車両と装備
- 3P～ ③車両検査
- ④ドライバーの連続走行規定時間
- 4P～ ⑤モデル別ハンデキャップタイム
- 5P～ ⑥ドライバーのウェア、装備
- ⑦サーキットへの入場、パドックパス、駐車場所
- ⑧参加受付
- ⑨自動計測機（トランスポンダー）
- ⑩ドライバーズブリーフィング（出走前説明会）
- 6P～ ⑪スタート方法 <セミ ル・マン式>
- ⑫救済処置
- 7P～ ⑬ピット規定
- ⑭給油
- ⑮通信機器の使用
- ⑯競技の中断及び再スタート
- 8P～ ⑰ゴール
- ⑱その他
- 9P～ ⑲ペナルティ
- 10P～ ⑳参加申し込みに関して

①ドライバーとチーム及びチームマネージャー

- チーム登録できるドライバーは最少2名、最大3名までの普通運転免許証保有者となります。(JAF、サーキットライセンス不要)
- チームマネージャーはドライバーとの兼務可能です。ただし、全ての連絡事項はチームマネージャー宛となります。
- チームマネージャーは識別のため、大会期間中、左腕に腕章を常時装着していただきます。
- チームメンバー、メカニック、サポートクルー、チーム関係者は常に安全の確保に留意してください。また、チーム関係者に重大なサーキット規則やマナー違反があった場合、該当チームはペナルティや失格になる場合があります。
- 各チームにはチーム名が必要です。スタイリッシュなチーム名を強く推奨します。

②参加車両と装備

- 1チーム最大3台までの、1956年から1994年までに製造された空冷ポルシェのみエントリー可能です。
- 参加チームは最大30チームとなります。

参加費

- 1チーム：70,000円(税込) 参加車両1~3台、参加ドライバー2~3名まで。

競技参加車両

- 公道走行可能なナンバー付車両に限ります。
- 音量に関しては、袖ヶ浦フォレストレースウェイの基準(95dB以下)遵守となります。くれぐれもご協力をお願いします。
- 3点式以上のロールゲージ、シートベルトは4点式以上のフルハーネスの装備を強く推奨します。
- 内容量1.5kg以上の消火器を車載することを強く推奨します。
- オイルキャッチタンクの装着を強く推奨します。
- 前後に牽引フックを必ず装着してください。装着されていない場合は、その他の部分で牽引する場合があります。車両にキズや損傷を与える場合がありますが、オフィシャル、事務局では責任を負えません。
- 当日配布するゼッケンナンバー・ステッカーは、参加する全車両の左右のドアに必ず貼り付けてください。
- ストップランプ、テールモールランプ、バックランプ、前後ウインカーは必ず点灯することが必要です。
- バッテリーを車内に設置する場合は、バッテリーボックスなどで、完全に隔離することが必要です。
- 燃料タンクは、純正燃料タンク、または安全燃料タンクへの変更が可能です。
- 純正燃料タンク使用の場合は、いかなる加工も不可となります。安全燃料タンクへの変更の場合、装着位置を規定しません。ただし確実に隔壁遮断してください。
- キルスイッチの装着を強く推奨します。取り付け位置は、車両前部の運転席側のフロントウインドウ下部、および車内。車内の設置において、運転者が操作可能であることが必要です。
- エキゾーストおよびマフラーの形状、および素材の変更が可能です。
- GTウイングの装着は禁止とします。GTウイングの定義=ボディと一体ではないローマウント及びハイマウントのステーを取り付けているウイングの総称です。
- 吸気システムの変更、および制御システムの変更が可能です。
- 装着するタイヤについて、Sタイヤは使用可能ですが、スリックタイヤは禁止とします。
- 事務局ならびに競技委員長が認めた場合に限り、ナンバーの付かないセミレーサーが参加する場合があります。

③車両検査

- タイムスケジュールにそって出向車検を行います。車両検査に合格していない車両は出走できません。
- オイル漏れについては、特に注意をお願いします。
- 破損によるパーツの落下・飛散防止のためにテーピングをお願いします。ガラス製のライト及びレンズ類は全て必須となります。樹脂製レンズ類、ホイールのバルンサーへのテーピングは推奨となります。
- テーピングのためのビニールテープ類は、チームにて用意して下さい。
- 配布ゼッケンは左右のドアに貼り付けて下さい。他のゼッケンが貼り付けてある場合は、見えないようにして下さい。
- 純正燃料タンク車は燃料吹出防止のため、ガソリン給油口を確実に締めたことの確認として、給油キャップのテーピングをお願いします。
- 競技時間内のガソリン給油、またピットガレージ内での給油は、いかなる場合も禁止となります。

④ドライバーの連続走行規定時間

- 2時間の競技時間中、1人のドライバー連続走行規定時間は20分以上50分以内と定めます。
- ドライバーは1走行で最小規定時間以下、最大規定時間以上のドライビングを行うことはできません。
- 最小、最大規定時間外のドライビングを行った場合は、ペナルティの対象となります。ただし一度最小走行時間をクリアしたドライバーが、再度乗車してチェッカーを受ける場合、競技終了までに20分を消化できない場合は、その限りではありません。
- ピットイン時には、ドライバー交代、車両交換にかかわらず、全クラス1分のストップタイムを義務付けます。
- 最小規定時間を消化したドライバーが一度降車し、1分のストップタイムをクリアし、再度乗車しドライブすることは、連続走行にはなりません。その際は、計測担当者に必ず申し出て確認してもらって下さい。
- ドライバー交代時には、必ずエンジンを停止して下さい。

乗車時間の計測方法

- ドライバー走行規定時間の計測開始は、ドライバーが車両に乗り、準備後、エンジンをスタートした時点からとなります。
- ドライバー走行規定時間の終了は、車両がピットガレージ（作業エリア含む）に戻り、タイヤが完全に停止し、エンジンをストップした時点までとなります。
- 計測開始から計測終了まで、車両に触れることを含めて一切の作業は禁止となります。
- ピットガレージ（作業エリア含む）で、ドライバーが乗車したままエンジンを止めていない時間は、走行状態とみなします。その場合、ドライバーの降車やピット作業は一切禁止となります。
- ピットガレージ作業エリアにおいて、車両が停止状態でドライバーが乗車していても、エンジンが停止している場合は乗車時間に含まれません。
- ドライバーの体調不良などで最小規定時間に満たない場合は、必ずオフィシャルもしくは計測担当者に申し出て下さい。オフィシャルが認めた場合に限り、最小規定時間は免除になる場合があります。

⑤モデル別ハンデキャップタイム

○モデル別ハンデキャップタイムは以下の通りとなります。

- ・モデル 356 (1956～1964 年製) プロダクションクラス：±0 分／スペシャルクラス：+1 分
- ・モデル 911 (1963～1973 年製) プロダクションクラス：+1 分／スペシャルクラス：+2 分
- ・モデル 930 (1974～1989 年製) プロダクションクラス：+2 分／スペシャルクラス：+3 分
- ・モデル 964 (1989～1994 年製) プロダクションクラス：+3 分／スペシャルクラス：+4 分

1994 年までの年式で、その他のモデルについては事務局にて判断します。

○ゼッケンとは別に、モデル別ハンデキャップタイムを表記したステッカーを配布します。走行中は車両への貼付けをお願いします。

○排気量変更、エンジン載せ替え、サスペンション、ミッション、ブレーキ変更など、大幅な改造のある車両については上記の限りではありません。参加車両のスペックを元に、事務局及び競技委員長の判断により、別モデルのハンデキャップタイムが適合される場合があります。また、虚偽記載や不正行為があった場合、ペナルティが加算されます。

○改造ポイントによるモデル別ハンデキャップタイムの規定は別途作成します。

○356 プロダクションクラス複数台で参戦予定のチームの方は、事前にご相談ください。

モデル別ハンデキャップタイムの消化

○ハンデキャップタイムを消化中は、ドライバー交代が可能です。それ以外の一切の作業は行えません。

○ドライバー交替のためのサポート作業は可能です。

○トランスポンダーの付け替え作業、P-LAP の操作、映像機器セット、飲料セット、窓ふきなどの作業は可能です。

○エアチェックなど、車両整備に関わるいかなる軽作業も行うことはできません。

○ピットエリアに出て作業ができるのはドライバーも含めて 5 名迄です。

○複数台の車両で参戦する場合は、走行後ピットストップ時に、そのモデルに該当するハンデキャップタイムを消化してください。

○1 台の車両で参戦の場合も、走行後ピットストップ毎に、そのモデルに該当するハンデキャップタイムを消化してください。

○ピットイン毎に、モデル別ハンデキャップタイムに 1 分のストップタイムが加算されます。

○チェッカーを受けるアンカー車両に関しては、ハンデキャップタイムは適用されません。

○チームのトータルハンデキャップタイムを、1 度のピットストップで合算して消化することはできません。

○ハンデキャップタイムの計測は、車両がピットガレージ作業エリアに戻り、タイヤが完全に停止し、エンジンストップした時点からとなります。

○ハンデキャップタイム消化中はエンジンストップが義務になりますので、ドライバーの連続乗車時間には含まれません。

⑥ドライバーのウェア、装備

- 4輪用レーシングスーツ、レーシンググローブの着用が義務となります。不燃素材のものを強く推奨します。
- ヘルメットは、4輪レース用ヘルメットの着用を極めて強く推奨します。
- ジェット型ヘルメットを使用の場合は、フェイスマスクの着用が義務となります。
- オープンカー、タルガルーフ車両は、フルフェイスヘルメットの着用が義務となります。
- 不燃素材のアンダーウェア、フェイスマスクを強く推奨します。
- レーシンググローブ、レーシングシューズは耐火性のものを強く推奨します。
- ハンスデバイスの装着を強く推奨します。

⑦サーキットへの入場、パドックパス、駐車場所

車両通行証

- 車両通行証（競技車両、サポートカー、トランスポーター用）は、サーキットへの入場の際に掲示し、駐車時はフロントガラスから視認できる場所に掲示して下さい。
- 車両通行証がない車両は、一般駐車場へ駐車となります。
- パドックパスは、チームマネージャー、ドライバー、サポートクルーに対し発行します。
- 競技車両、サポートカー、トランスポーターの駐車、待機位置は、パドック表とスタッフの誘導に従って下さい。
- チームのパドックナンバーは、当日のパドック表を確認の上、厳守して下さい。
- キャンピングカーやトランスポーターなどの大型車はパドックへ進入、駐車することはできません。

その他の注意

- サーキットでは、午前8:00以前のエンジンの空吹かしやパドック、外周路、ゲート前スペースなどにおける走行や空吹かしを行わないようにして下さい。移動のためのエンジン始動はこの限りではありません。

⑧参加受付

- 参加受付は指定された時間までに、参加受理証を事務局ブースに提出して済ませて下さい。
- 受付時にゼッケン、タイムスケジュール、食事券等を受け取って下さい。

⑨自動計測機（トランスポンダー）

- 自動計測器は、受付時に配布しますので、必ず受け取りになり、競技終了後は、速やかに返却をお願いします。
- 自動計測器は、サーキット推奨の取り付け方法に従い、リヤバンパーのナンバープレート部分に正しく装着してください。
- 万一、自動計測器を破損、紛失してしまった場合は実費弁償になりますのでご注意ください。

⑩ドライバーズブリーフィング（出走前説明会）

- 2Fブリーフィングルームにて行います
- ドライバーズブリーフィングには、登録ドライバー、チームマネージャー全員の参加が義務となります。不参加の場合、失格、またはペナルティ加算される場合があります。
- ドライバーズブリーフィング会場入口にて、チーム名、氏名を伝え、出席チェックを受けて下さい。

⑪スタート方法 <セミ ル・マン式>

- スターティングポジションは、ドライバーズブリーフィング会場にて、抽選で決定します。
- オフィシャルの指示に従い、サインガード側に車両を整列します。エンジンをストップし、ドライバーが乗車した状態で待機します。
- チームスタッフ1名（ドライバー以外も可、ただし中学生以上に限ります）がホームストレート上の車両と反対側に待機し、スタートの合図とともにコースを横断し、事前に受け取っておいたグローブ片側をドライバーに渡します。
- ドライバーは、受け取ったグローブ片側を完全に装着してからエンジンを始動して、スタートとなります。
- グローブを渡した後、チームスタッフは速やかにコンクリートウォールを乗り越え、サインガード内側に退避して下さい。

ウォーミングアップ走行

- スタート前に20分間のウォーミングアップ走行の時間があります。時間配分を考え、コース内へは各チーム1台ずつ走行して下さい。

⑫救済処置

- エンジンが始動できなかった場合、オフィシャルの指示が出るまでそのまま待機し、全車スタート終了後、オフィシャルに従って車両をピットに移動して下さい。エンジンが始動できた場合はピットスタート、できない場合は車両を変更してピットスタートして下さい。
- スタート後、3周以内で赤旗中断の際は、セーフティカーを導入し、レースを再スタートする場合があります。
- スタート30分以内でマシントラブル、コースアウト等の理由で走行困難な場合、チームからの申し出があり、競技委員長が承諾した場合に限り、別の自動計測器を配布して復帰する救済処置を行う場合があります。ただし31分以上経過の場合、その限りではありません。リタイヤとなります。

セーフティカーコントロール

- レース中のトラブルの処置は競技委員長が状況を判断し、セーフティカーコントロールとする場合があります。
- セーフティカーがコースインするタイミングは、トップ車両の前とは限りません。
- セーフティカーコントロール中は、セーフティカーを含む前車を追い越すことは禁止します。
- セーフティカーのコーションランプが消えるタイミングは、ホームストレート、もしくは状況により9番ポスト前となります。
- レース再スタートは、セーフティカーがピットインしたのち、メインポストのグリーンフラッグ振動後となります。ただし、コントロールランを通過するまでは、前車を追い越すことはできません。

⑬ピット規定

○ピットは、1チームあたり1ピットガレージとなります。ピットガレージナンバーは参加受理書と共に案内します。状況により当日変更になる場合は、受付時にご案内します。

○整備スペースは、ピットガレージ作業エリア、ピットガレージ内、および自ピット後方のパドックエリアとします。

○ピットガレージ作業エリア、ピットガレージ内は火気厳禁です。喫煙は所定の喫煙スペースにてお願いします。

ピットへの進入

○ピットインする車両は、8コーナー通過時よりコース右側を走行し、9コーナー（第2ヘアピン）立ち上がりも右側走行を心がけてください。

○ピットロードへの進入は、入口手前で右ウインカーまたは手で合図して安全を確認して進入して下さい。

○ピットレーンの制限速度は、40 km/h以下です。速度超過はペナルティの対象になります。

○ピットロード、ピットレーンは一方通行です。バックすることはできません。バックギアの使用はペナルティの対象となります。

○自ピットへの進入に際しては、ピットレーン最近部からピットガレージ作業エリア、もしくはピットガレージ内に入って下さい。

ピットからの発進

○ピットガレージ内よりエンジンの始動は可能です。

○ピットアウト時の押しがけは禁止です。ただし、オフィシャルが認めた場合に限り、可能とします。

○コース進入の際は、ピットロード出口付近の信号機の指示、またはオフィシャルの合図に従って下さい。

緑色ランプ点灯：コースイン可、

赤色ランプ点灯：コースイン不可

○コース進入時は、必ずピットロード延長上の白線内側（右側）を走行し、第1コーナーは必ず右側を走行して下さい。

⑭給油

○競技中、走行時間内にピットインして、ピットガレージ及びガソリンスタンドにて給油することは禁止します。

○走行前後のガソリン給油は、必ずサーキット内ガソリンスタンド、およびガソリンスタンド周辺のラインで囲まれた給油エリアにて行って下さい。

○給油時に使用するガソリン携行タンクは、金属製のものを使用して下さい。その最大容量は20リットルと定めます。

⑮通信機器の使用

○無線機は使用可能です。

⑯競技の中断及び再スタート

○赤旗による競技中断合図指示後の追い越しは禁止です。

○競技中断の際も、計時システムは停止しません。

○赤旗が表示される前の周回の順位をベースに、グリッドを決めて再スタートします。

⑰ゴール

- 2時間経過後にトップ走行の車両に対し、ゴールポストでチェッカーフラッグを振動提示します。
- チェッカー後は、全ポストでイエローフラッグを静止表示します。
- チェッカーを受けた車両はスピードを落としてピットインして下さい。チェッカー後の追い越しは禁止です。
- ダブルチェッカー、それ以上はペナルティの対象になります。また、オフィシャルの誘導がない限り、コースをショートカットすることはできません。
- 赤旗提示時が、競技時間の70%（84分）以上を消化している場合は競技成立とし、赤旗中断の前の周回を着順とします。

⑱その他

- その他の注意事項、タイムスケジュールは受付時、ドライバーズブリーフィング、受理書で確認して下さい。
- 荷物や工具は各自で管理をして下さい。盗難、紛失の場合、事務局、及び、オフィシャルでは責任を負うことができません。
- イベント開催中に、盗難や事故などが発生した場合は、速やかに事務局へ連絡をして下さい。
- パドック内やコース上における人身事故、物損事故について、事務局、オフィシャルでは責任を負うことができません。
- パドックやピットレーンは制限速度を厳守し最徐行が義務であると心がけて下さい。
- 誓約書内容、ルール内容を理解していることが参加条件であり、申し込みの時点でそれらを了承しているものと見なします。
- 事務局、スタッフ、オフィシャルや他の参加者に対して、暴言、暴力、威嚇、妨害、金銭の請求、賠償請求などを行った場合、事務局判断にて即時失格、及び、以後の受付拒否とします。
- 失格の場合、走行前であっても参加費は返却しません。事務局からの通達、指示を受け入れない、実行できない方なども即時失格、以後の受付を拒否します。
- ガードレールなど、サーキットの設備に損害を与えてしまった場合、修理に伴う実費をお支払いいただきます。この見積・請求はサーキット側から事務局に提示されます。事務局はそれをそのまま該当チームにお伝えします。お支払いは事務局へお願いします。
- 複数台、または直接の接触がなくとも、事故の原因となったチームは、該当全チームが連帯責任となります。サーキット施設破損、備品使用料などの弁償は、該当チーム全員での分担負担とします。この分担弁償については該当チームと事務局との話し合いにより決定します。
- ガードレールなど、サーキット設備の同一箇所に対し、時間差で複数のチームが損害を与えた場合は、最初に損害を与えたチームに責任があるものとします。
- 本レギュレーション、および誓約書の内容に納得できない場合は、参加を受け付けることができません。

⑱ペナルティ

スタート時

- スターティンググリッドでのバック、およびバックギアを使用した場合は、失格とします。
- フライング（ジャンプ）スタートは2周減算とします。

フラッグ

- イエローフラッグ提示区間での単独スピンは、1周減算とします。
- イエローフラッグ提示区間での追い越し、コースアウトは、5周減算とします。
- フルコースコーション中の追い越し、スピン、コースアウト、事故等は、失格とします。
- セーフティカーコントロール中の追い越し、スピン、コースアウト、事故等は、失格とします。
- ブラックフラッグ提示後、3周以内にピットインした場合は、ピットスルーとします。
- ブラックフラッグの提示を3周以上無視した場合は、超過1周につき3周減算とします。
- ブラックフラッグに該当する危険走行をした場合は、1周減算または失格とします。
- オレンジディスクの提示を2周以上無視した場合、または提示中に競技が終了した場合は2周減算とします。
- ブルーフラッグの無視は、厳重注意とします。
- レッドフラッグ提示後の追い越し、失格とします。
- チェッカーフラッグが掲示され、コントロールラインを通過した後の追い越しは、1台ごとに1周減算とします。
- チェッカーフラッグが掲示され、コントロールラインを通過した後のスピン、コースアウト、事故等は、5周減算とします。
- ダブルチェッカー以上は、失格とします。

連続走行規定時間

- 連続走行最大時間を超過した場合は、1周につき1周減算とします。
- 連続走行最小時間に満たない場合は、未達時間にかかわらず5周回数減算とします。ただし、走行中止の理由によっては免除になる場合があります。

ピット

- ピットレーンでの速度超過は厳重注意とします。
- ピットレーンでのバック、およびバックギア使用は、3周減算とします。
- ピットレーンでの追い越し、接触事故等は、3周減算とします。
- ピットガレージ作業エリア、ピットガレージ内、サインガードは火気厳禁です。違反した場合は、3周減算とします。

その他

- 喫煙所以外での喫煙は、3周減算とします。
- ピットガレージ作業エリア、サインガードにハイヒール、サンダル等での立ち入りは厳重注意とします。注意を複数回無視した場合は、1周減算とします。

⑳参加申し込みに関して

○参加申し込みは、事務局が用意した WEB 上のエントリーフォームに、チームマネージャーの方が仮登録をお願いします。仮登録後、事務局よりメール、または郵便にてエントリー用紙をお送りします。エントリー用紙を返送いただいたのち、指定期日までに銀行振込みにて参加費のお支払いを完了して下さい。その後、事務局より、受理書、その他書類を送付させていただきます。

○参加申し込み期間：2017年12月1日（金）～2018年1月18日（木）

○本レギュレーションは随時更新される場合があります。その際はWEB等に公式通知として掲載しますので、確認をお願いします。

大会組織委員

大会会長：井関純夫

競技委員長：杉本三四郎

選手会長：郡谷正夫

実行委員長及び事務局長：猪田昌明

事務局：高橋真光、吉村誠司

運営：株式会社柘出版社 The Garage Works